MASPRO

CS 水平・垂直偏波分波器

ORTHO-MODE TRANSDUCER
受信周波数　12.2～12.75GHz

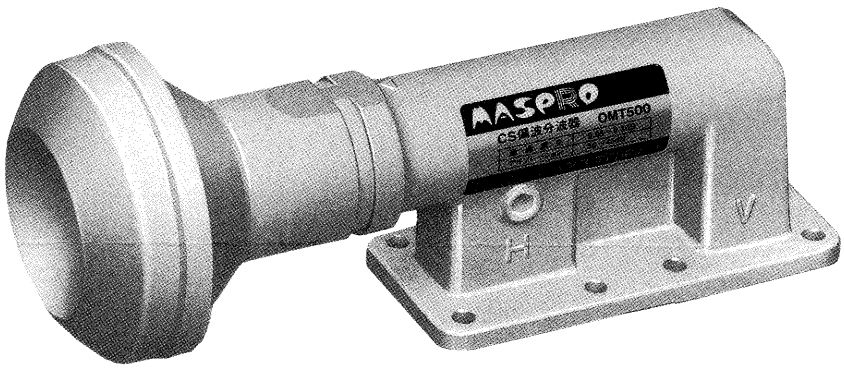
OMT500

取扱説明書

CSアンテナに取付けて，通信衛星からの電波を水平偏波と垂直偏波に分波するのに使用します。

OMT500適合CSアンテナ

CSK50，CSK60，CSK75
CSK100，CSK120，CSK180
CSK75YST，CSK120YST



MASter of PROduction
生産の覇者

高性能

フィードホーン 一体型

フィードホーンと偏波分波部を一体にしたマスプロ独自の構造ですから，通過損失は，0.05～0.3dBと非常に少なくなっています。また，偏波出力部が下向きになっていますから，防水性に優れています。
（特許　第3112169号）

ハイテックフィードホーン

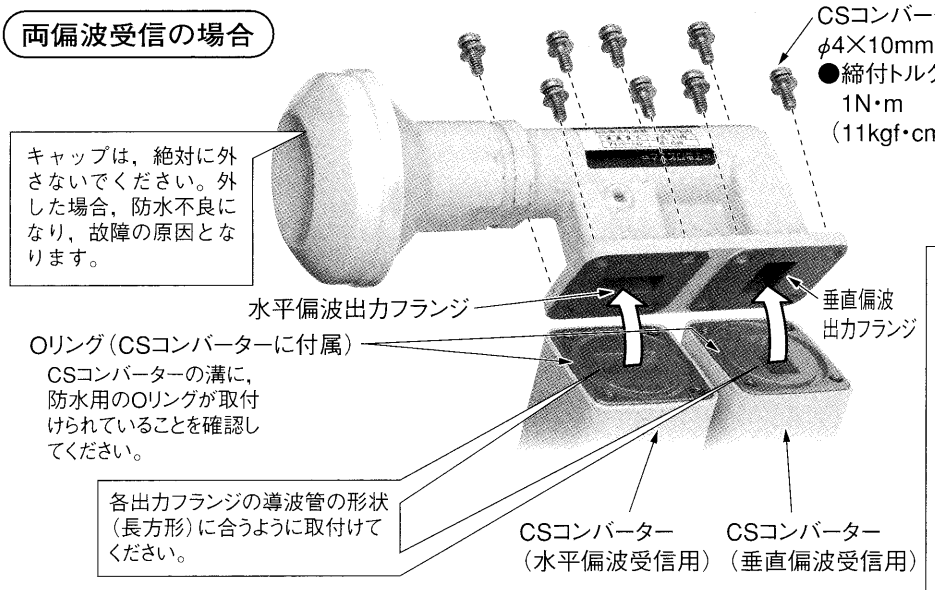
マスプロ独自のフィードホーン設計により，非常に優れたサイドローブ特性になっていますから，近接した位置にある，他の衛星や地上波による妨害を，大幅に軽減します。

●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの
MASPRO
＝マスプロ電工＝

コンバーターの取付方法

両偏波受信の場合

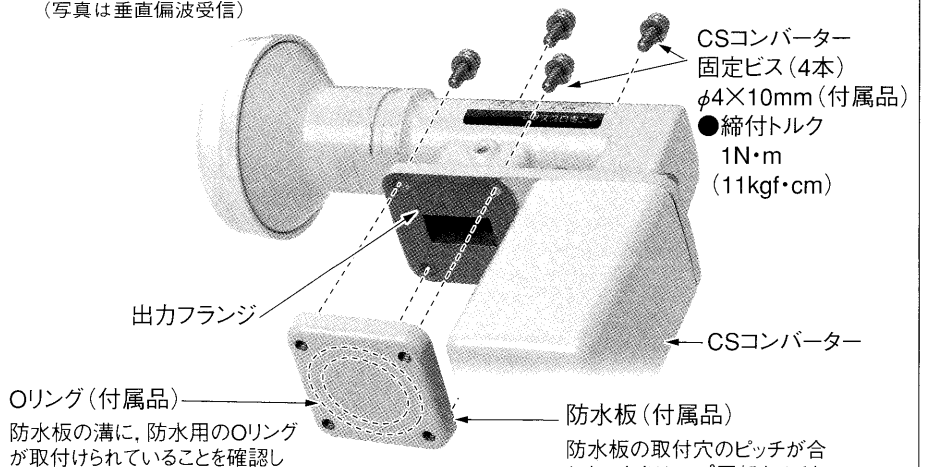


指定のトルクで締付けないと，防水不良になり，故障の原因となります。

片偏波受信の場合

受信する偏波面側の出力フランジにCSコンバーターを取付け，使用しないの出力フランジに防水板を必ず取付けてください。

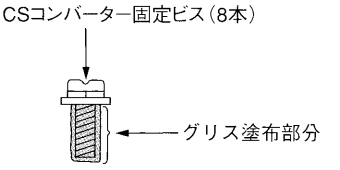
（写真は垂直偏波受信）



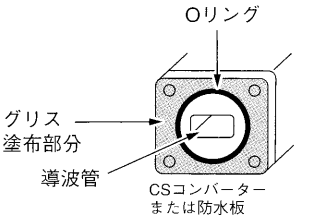
グリスの塗布について

付属のグリスを次の部分に塗布してください。

① CSコンバーター固定ビスのネジ部分全体に塗布してください。塗布しないと腐食して，CSコンバーターが取外せなくなります。



② CSコンバーターおよび防水板と**OMT500**との接合面（下図参照）に塗布してください。塗布しないと腐食して，防水不良になります。

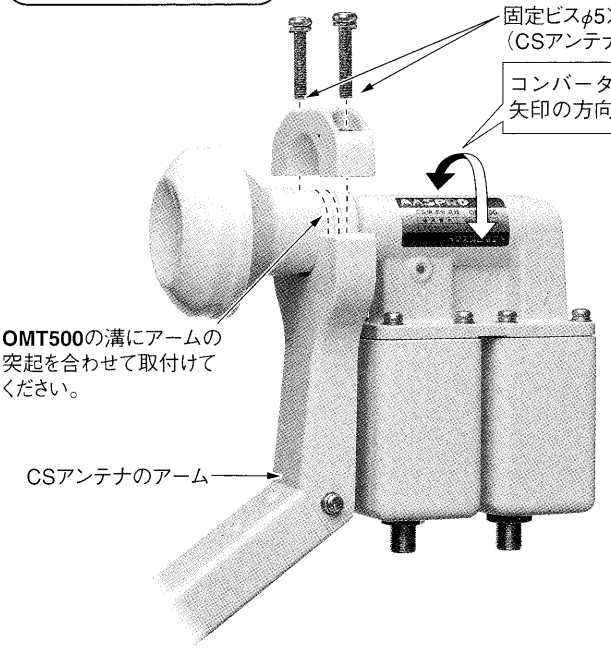


ご注意

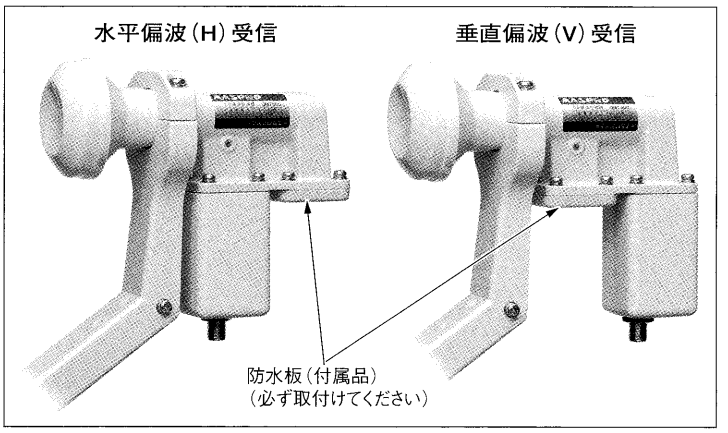
グリスが導波管内部に付くと，CSコンバーターの性能が低下します。導波管内部に，はみ出さないようにグリスの量に気をつけて塗布してください。（はみ出した場合，きれいに拭取ってください）

アンテナのアームへの取付方法

両偏波受信の場合



片偏波受信の場合



コンバーター傾き角の調整方法

水平または垂直偏波のどちらか一方のチャンネルを受信して，調整します。

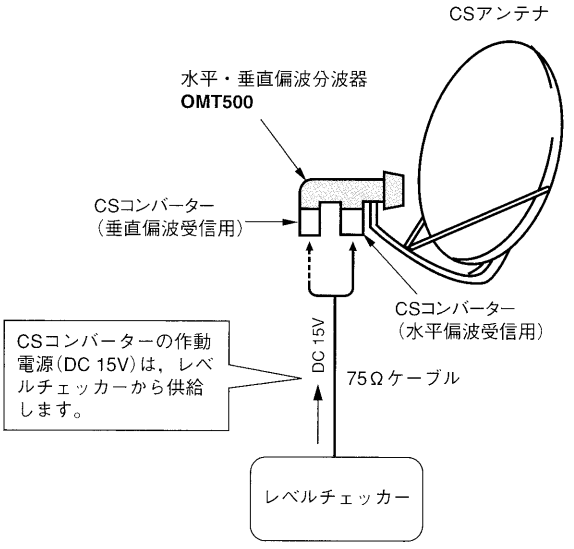
両偏波受信の場合

① **OMT500**の水平・垂直偏波出力フランジに，CSコンバーターをそれぞれ取付けてください。

② p.4の「**通信衛星の偏波面傾き角表**」から，受信しようとする衛星の「偏波面傾き角」を読取り，偏波面傾き角目盛に**OMT500**のセンターマークを合わせてください。

③ 水平または垂直偏波どちらかの受信用CSコンバーターに，レベルチェッカーを接続し，逆の偏波（垂直または水平偏波）で，受信できる任意のチャンネルにレベルチェッカーを設定してください。

④ **OMT500**を左右に動かして，レベルチェッカーのレベル表示が最小になる位置で，**OMT500**を固定してください。



片偏波受信の場合

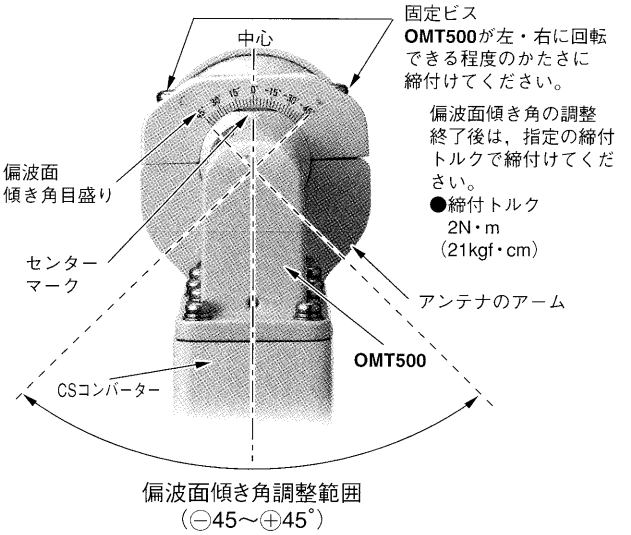
① **OMT500**の水平または垂直偏波出力フランジのどちらか一方の希望する受信偏波面側にCSコンバーターを取付けてください。
CSコンバーターを取付けない出力フランジには，付属の防水板を必ず取付けてください。

②「両偏波受信の場合」の②と同様に**OMT500**の「偏波面傾き角」を設定してください。

③ **●水平偏波チャンネルを受信する場合**
水平偏波受信用CSコンバーターに，レベルチェッカーを接続し，垂直偏波チャンネルで受信できる任意のチャンネルにレベルチェッカーを設定してください。次に，**OMT500**を左右に動かして，レベルチェッカーのレベル表示が最小になる位置で，**OMT500**を固定してください。

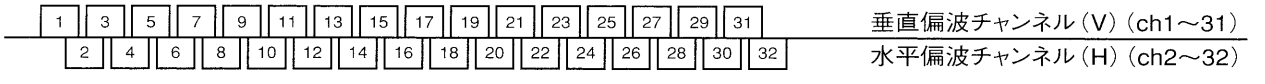
●垂直偏波チャンネルを受信する場合
垂直偏波受信用CSコンバーターに，レベルチェッカーを接続し，水平偏波チャンネルで受信できる任意のチャンネルにレベルチェッカーを設定してください。次に，**OMT500**を左右に動かして，レベルチェッカーのレベル表示が最小になる位置で，**OMT500**を固定してください。

正確に調整すれば，水平・垂直偏波チャンネルの画面が重なって見えること（混信）はありません。最後にテレビの画面で混信がないことを確認して，調整は完了です。

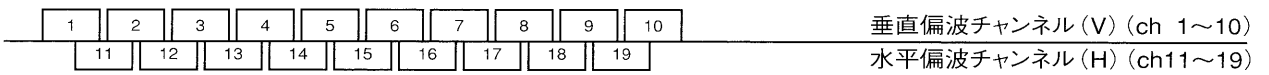


JCSAT・スーパーバードのチャンネル配列図

JCSAT　（株）日本サテライトシステムズの通信衛星です。



スーパーバード　宇宙通信（株）の通信衛星です。



規格表 Specifications

MASPRO

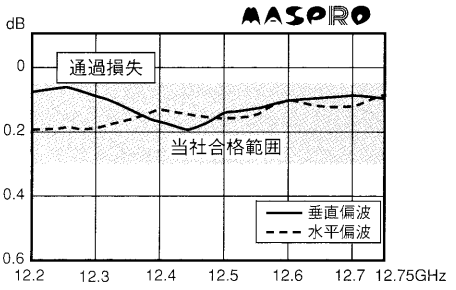
項目 *Items*	規格
受信周波数 *Reception Frequency*	12.2～12.75GHz
受信偏波 *Polarization*	水平(H)、垂直(V)の直線偏波
通過損失 *Insertion Loss*	0.05～0.3dB
VSWR	1.3以下
アイソレーション(偏波分離度) *Isolation*	30～45dB
出力構造 *Output Flange Structure*	防水型フランジ：**BRJ-120**、導波管：**WRJ-120**
フィードホーン適合開口角 *Aperture Angle of Feed Horn*	90±10°
外観寸法 *Dimensions*	65(H)×59(W)×152(D)mm
質量(重量) *Weight*	約250g

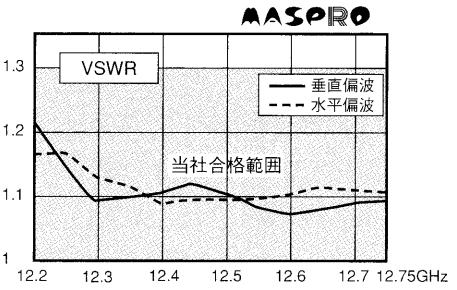
付属品

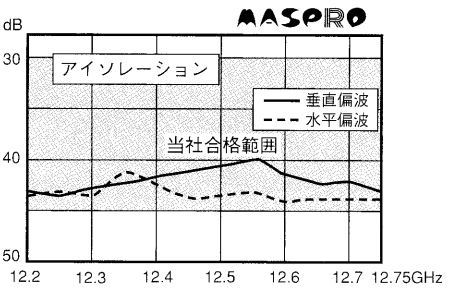
防水板 ……1枚
Oリング ……1個
コンバーター固定ビス ……8本
グリス ……1個

意匠登録　第803477号

周波数特性 Frequency Characteristics







マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

通信衛星の偏波面傾き角表

単位(°)

地名＼衛星	偏波面傾き角 JCSAT-1B	JCSAT-2A	JCSAT-3	JCSAT-4A	スーパーバードA	スーパーバードB	スーパーバードC
稚内	㊀8	18	13	17	16	12	10
旭川			15	18	15		
札幌	㊀9	17	14		14	10	9
函館	㊀10	16			13	9	8
青森	㊀11	15			12	8	
盛岡	㊀10		15	20			9
秋田	㊀12	14	14	18	11	7	7
山形		13	15	20	10	6	
仙台	㊀11	14	16		11		8
福島	㊀12	13			10		7
宇都宮	㊀13	12			8	4	6
水戸				21	9	5	7
前橋	㊀14	11	15	19	7	3	5
大宮			16	20			6
東京				21			
千葉	㊀13				8	4	7
横浜	㊀14				7	3	6
新潟		12	14	18	8	4	
甲府	㊀15	10		19	6	2	5
富山	㊀17	9	12	17			3
金沢		8	11	16	5	1	2
福井	㊀18	7			4	0	1
岐阜			12	17			2
長野	㊀15	10	13	18	7	3	4
静岡	㊀16	9	14	20	5	1	
名古屋	㊀18	7	12	18	4	0	2

単位(°)

地名＼衛星	偏波面傾き角 JCSAT-1B	JCSAT-2A	JCSAT-3	JCSAT-4A	スーパーバードA	スーパーバードB	スーパーバードC
津	㊀19	7	12	17	3	㊀1	1
大津		6	11	16			0
京都							
和歌山	㊀21	5	10		1	㊀3	㊀1
奈良	㊀19	6	11	17	2	㊀2	0
大阪	㊀20	5		16			1
神戸			10				
鳥取	㊀21		9	14			
岡山	㊀22	4	8		0	㊀3	㊀2
広島	㊀24	2	6	12	㊀1	㊀5	㊀4
山口	㊀25	1	5	11	㊀2	㊀6	㊀6
松江	㊀22	3	7	12	0	㊀3	㊀3
高松			9	14			㊀2
徳島	㊀21	4	10	15	1		
高知	㊀23	2	8	14	㊀1	㊀5	㊀3
松山	㊀24		7	13			㊀4
福岡	㊀27	㊀1	4	10	㊀4	㊀7	㊀7
大分	㊀26	0	5	11	㊀3		㊀6
佐賀	㊀27	㊀2	4	10	㊀4	㊀8	㊀8
長崎	㊀28		3	9	㊀5		㊀9
熊本	㊀27	㊀1	4	10	㊀4		㊀8
宮崎		㊀2	5	12	㊀5		㊀7
鹿児島	㊀28	㊀3	4	11	㊀6	㊀9	㊀9
名瀬	㊀33	㊀8	3	10	㊀10	㊀14	㊀13
那覇	㊀38	㊀12	㊀1	7	㊀15	㊀18	㊀18
石垣	㊀44	㊀18	㊀8	0	㊀20	㊀22	㊀25

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝
本社〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部　TEL名古屋(052)802－2244
工事営業部　〃　(052)802－2225
技術相談　〃　(052)805－3366
インターネットホームページ　www.maspro.co.jp

AUG., 2002

MASter of PROduction
生産の覇者

2K55-406
B-28-4406-5L